

ファイナルレポート

国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
 2025年4月15日～17日
 中国・上海新国際見本市会場

2025年4月18日

electronica China 2025 は、同業者を一堂に会し、実りあるコラボレーションで業界の新しい未来を描いて成功裏に終了

Summary

- 1,794 社が出展、業界関係者 66,960 人が来場
- 展示面積は 10 万平方メートル
- 14 のフォーラムが開催され、一流の専門家が業界の将来を展望

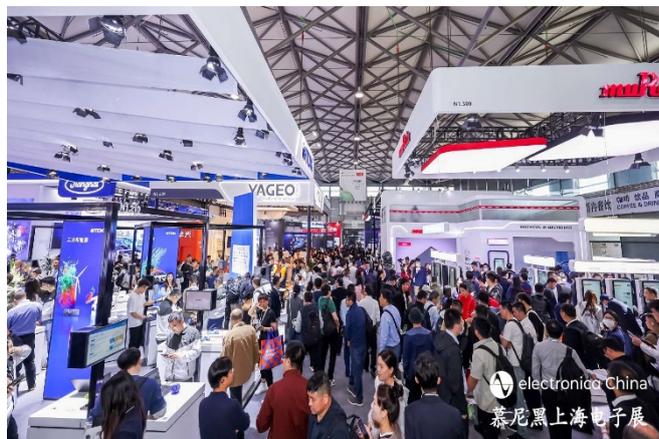


Facts & Data

| | |
|----------------------|---|
| 会 期 | 2025年4月15日(火)～17日(木) 9時～17時(最終日のみ16時まで) |
| 会 場 | 中国・上海新国際見本市会場 |
| 主 催 | Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海 |
| 規 模 | 100,000 m ² (2024年: 100,000 m ²) |
| 出 展 企 業 | 1,794 社 (2024年: 1,671 社) |
| 来 場 者 総 数 | 66,960 人 (2024年: 75,423 人) |
| 主な出展品と 出 展 技 術 | <electronica China> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッド・システム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ |
| 出展日本企業 (現法出展など含む) | SMK(株)、オムロン(株)、兼松ケミカル(株)、菊水電子工業(株)、ケル(株)、コーデンシ(株)、コアスタッフ(株)、サンエツ金属(株)、山陽精工(株)、吹田電気(株)、進工業(株)、住友電装(株)、第一精工(株)、太陽誘電(株)、TDK(株)、ニチコン(株)、日清紡マイクロデバイス(株)、日本オートマチックマシン(株)、日本高純度化学(株)、(株)日本抵抗器製作所、(株)日立ハイテクアナリシス、(株)原田伸銅所、ヒロセ電機(株)、富士端子工業(株)、(株)マルニックス、ミノル(株)、(株)村田製作所、RAMXEED(株)、ルビコン(株) ほか(50音順) |
| 専 用 U R L | www.electronicachina.com.cn/en (英語) |

4月15日から17日まで上海新国際見本市会場で開催された electronica China 2025 は成功裏に閉幕した。今回は、国内外の有名ブランド 1,794 社が参加し、10 万平方メートルの見本市会場に、66,960 人の業界関係者が来場した。会場では、出展者と来場者の間で活発な交流が繰り広げられ、新しい発想も生み出され、見本市は一層の成功に高められた。

メッセ・ミュンヘンの CEO ラインハルト・ファイファーは、「electronica China は今年も素晴らしい成果を上げることができました。出展者数、来場者数などの今回の数値は、この見本市の力強い活力を十分に示すものであり、業界内の旺盛な需要を裏付けています。私たちは、エレクトロニクス産業の発展を支援し、見本市の影響力を高めていくことに引き続き全力を尽くしていきたい。次回 2026 年 7 月の開催も楽しみにしています」と述べている。



今回の見本市では、半導体、センサー、人工知能、電源、試験・測定、受動部品、ディスプレイ、コネクタ、スイッチ、ワイヤーハーネスとケーブル、プリント回路基板、電子機器製造受託サービス、半導体製造など、様々な分野にわたって、製品設計から実社会での応用まで、産業チェーン全体を網羅する最先端ソリューションを紹介するプラットフォームを構築することに一層の重点が置かれた。

メッセ・ミュンヘン上海社の CFO Jan Rohde は、「見本市の成功は、皆様の力強いサポートなしにはあり得ないことでした。素晴らしいプレゼンテーションをしてくださった出展者の方々がこの見本市を支える礎であり、皆様のご尽力に感謝申し上げます。また、エレクトロニクス業界に関わる専門家や有識者の方々には、業界の発展を牽引する貴重な洞察を提供していただき、厚く御礼申し上げます。そして、エレクトロニクス業界からご来場の皆様には、活力あふれるエネルギーを注ぎ込んで見本市を大いに盛り上げていただきました。誠にありがとうございます。これからも、エレクトロニクス産業の成長と活力を共に見届けていきましょう」と謝意を述べた。

electronica China 2025 は、業界の動向を的確に把握し、以下のトレンド分野で新たなハイライトを紹介した。

ヒューマノイドロボットは最も有望な新興分野の一つ

今回初めて、ヒューマノイドロボットの展示エリアが設けられ、最先端のヒューマノイドロボット技術とそのアプリケーションが紹介された。このエリアでは、日常生活におけるヒューマノイドロボットの将来の可能性を垣間見ることができ、業界にとって技術革新と実用化の促進に非常に有用な機会となった。見本市と並行して開催された「Humanoid Robot Innovation Forum」では、最新技術とコアコンポーネントのコラボレーション、様々な市場におけるアプリケーションシナリオに焦点が当てられた。業界関係者が招かれ、様々な分野で期待されるヒューマノイドロボットの今後の開発と導入について議論が交わされた。



生成 AI がインテリジェント・コンピューティングの新時代を切り拓く

多様な分野にわたる大規模な AI モデルの統合は、様々なタイプの AI チップに対する基盤サポートによって実現される革命的な新しいユーザー体験をもたらした。チャンスと挑戦の両方に満ちたこの重要な岐路にあって、見本市では AI 専用のパビリオンが開設された。「インテリジェント・ドライビング」、「クラウド・コンピューティングとデータセンター」、「コンシューマー・エレクトロニクス」、「医療産業」という 4 つの主要なアプリケーション分野に焦点を当てたテーマ別の展示ゾーンが設けられ、各々の対象者から大きな注目を集め

た。また、同時開催された「2025 AI Technology Innovation Forum」では、学界と産業界の専門家、上級研究者、優れた企業代表者が一堂に会し、「次世代 AI チップ・アーキテクチャ」、「データ・セキュリティとプライバシー保護」、「AI とストレージの統合」といった重要なテーマについて、掘り下げて議論した。

IoT パラダイムを再構築し、業界の将来の重要な道筋を解き明かす

IoT アプリケーションに焦点を当てた electronica China 2025 は、「クロスドメイン統合」を軸に、「端末コンピューティング能力の強化」、「ハイブリッド・ネットワーク・アーキテクチャ」、「グリーンエネルギー技術」という3つの最先端の方向性を強調した。来場者には、業界進化の次の波を捉えるワンストップの専門プラットフォームとなった。

同時開催の「International Embedded System Innovation Forum」と「IoT Consumer Electronics Technology and Application Forum」では、「産業用 IoT 技術とエコシステムの開発」、「世界の IoT コンシューマー市場の最新動向と将来展望」、「生成 AI が IoT コンシューマーにもたらす機会と課題」といったテーマについて、その洞察を参加者全員が共有した。



新エネルギー貯蔵産業が飛躍的成長

強力な政策支援を受けて、新エネルギー貯蔵産業は飛躍的な発展を遂げた。技術革新の面では、リチウムイオン電池のほかにも、圧縮空気エネルギー貯蔵、フロー電池、固体／半固体電池、ナトリウムイオン貯蔵技術が目覚ましい進歩を遂げている。会期中に、「2025 Innovation Forum on Energy Storage Technology」が開催され、業界関係者が一堂に会して、世界のエネルギー貯蔵市場の最新動向と2025年の主要な技術動向について具体的な検討を行った。

カーエレクトロニクスのマッチングセッションが業界の連携を加速

カーエレクトロニクスのバリューチェーン全体わたる連携を強化するため、当見本市は「OEqiche-Procurement and Supply Docking Conference」を開催して、上流と下流のコミュニケーションを活性化し、産業協力を促進した。OEauto は、的確な交渉とビジネス・ドッキングを通じて、明確な調達ニーズを持つバイヤーとサプライヤーに効率的なドッキング・プラットフォームを提供し、自動車産業の協調的発展を支援している。

14 のテクニカル・フォーラムで業界の重要トレンドを探る

会期中、合計 14 の最先端技術フォーラムが開催された。フォーラムでは、カーエレクトロニクス、新エネルギー自動車、インテリジェント製造、IoT 統合、医療用エレクトロニクス、エネルギー貯蔵、第 3 世代半導体、ヒューマノイドロボット、AI 技術、組み込みシステム、モータードライブ、コネクタ技術などのトレンドピックに焦点が当てられた。そして、バリューチェーン全体から集まった著名なエキスパート、企業代表者、優れたサプライヤーやサービスプロバイダーが、それぞれの知見を共有し、トレンドを探り、そうしてエレクトロニクス業界の継続的な革新と成長を見据えた方向性を確認した。

次回の electronica China は、来年、2026 年 7 月 1 日から 3 日まで、上海新国際見本市会場で開催の予定。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.electronicachina.com.cn/en (英語)

資料請求、各種お問合せ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)